

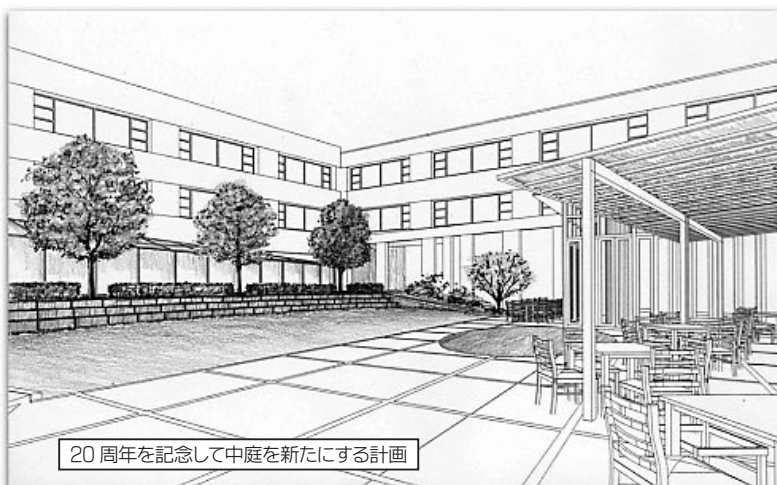


20年間変わらず学校の中心にある図書館

に通う外国人子弟や様々な文化を伴って日本に帰って来る帰国生徒たちには馴染まない。グローバルな視点で、どんな背景の生徒にも通じるユニバーサルな規範、それが「Self-自分」「Others-他の人」「Learning-学習」「Environment-環境」「Leadership-リーダーシップ」へのリスペクト。20年前の開校前に作られたこの規範は、その後多くの学校等で参考にさせていただいており、それは我々の誇りでもある。

その後、OIAはSIS（千里国際学園そして関西学院千里国際中部・高等部）へと変遷していく。1999年、校名が変わると同時期に新しいカリキュラム制度「学期完結制」が成立した。これによって帰国生徒が一年に3つある学期のどこで編入学しても他の生徒と同じスタートを切ることができ、秋に新学期を迎えるOISとも授業を合わせやすく、生徒が積極的に自由に取りたい授業を選択できるようになった。また、SISが受講できるOISの授業も増え、スポーツや音楽で他のインターナショナルスクールとの交流をするリーグを確立し、さらにアカデミックな交流も行うリーグとして形を変え、成長してきた。また、IB（International Baccalaureate）校としてスタートしたOISが、11年生からのディプロマコースに加え、2001年には日本では第一号のMYP（ミドルイヤープログラム）・PYP（プリマリーイヤープログラム）を導入したインターナショナルスクールとなって以来、その理念はSISにも少しずつ取り入れられている。

そして昨年の2010年4月には関西学院の一員となり、学校名は関西学院千里国際中部・高等部となった。前回の記事でも紹介したように、大学のバックアップを受けることで生徒たちの学びと経験の機会が広がった。希望する生



20周年を記念して中庭を新たに作る計画

徒が関西学院大学に進学できる門戸も広がっていく予定だ。しかしそれと同時に生徒たちが多様な個性を伸ばしながら進路を選びとっていく手助けをする姿勢は学校として変わらない。

「新国際学校」として開校した本校が成人式を迎える。多くの方に支えられてここまで来た。Informed, Caring, Creating Individuals contributing to a global community = 知識をもち、思いやりをもち、創造力をもって世界に貢献する個人を育てるという設立時からの理念は変わらない。設立時から変わらず大切にしてきたことを守りつつ、関西学院の一員としてさらに新しい21世紀の時代を担う国際学校として成長していかなければならない。本当に力があって意識の高い人材を世に送り出し、社会に貢献するのが学校の責務だ。

20周年を記念しての中庭改造計画というのがある。生徒達からたくさんの改造案が提出され、それらを参考にデザインが完成しつつある。記念行事の中身が少しずつ決まり、たくさんの卒業生たちからの参加・応援の声が届く。楽しみだ。

関西学院 千里国際中部・高等部
〒652-0032 大阪府箕面市小野原西4-4-16
TEL: 072-727-5070 FAX: 072-727-5055
HP: www.senri.ed.jp E-mail: admissions@senri.ed.jp



千里国際の創立以来の「20年間の略歴」の紹介です。

20年間の変遷の中で、日本の中学・高校（SIS）とインター校（OIS）が同じキャンパスで共生する「新国際学校」の理念を維持し、時代に合わせて実践を発展させてきた千里国際の生徒・教職員・保護者に皆さんに心から拍手を送ります。そして、今後の健闘を心から祈ります。

開校前、初代校長の藤澤先生が建設中の設計図を前に「新国際学校」について熱心に語っていたの思い出し、感無量です。成人、おめでとう！